



新工SPH通信

VOL. 15

新潟県立新潟工業高等学校
SPH推進委員会
平成 29 年 8 月 31 日
Community cooperation

平成 29 年 7 月 5 日（水）から 14 日（金）の休日を除く 8 日間、丙種危険物取扱者試験の合格を目指し、7 限に試験対策講座を実施しました。

試験の 3 本柱となる【燃焼および消火に関する基礎知識】【危険物の性質、並びに火災予防および消火の方法】【危険物に関する法令】について、土木科の職員が解説し、小テストを繰り返しながら試験対策講座を展開しました。

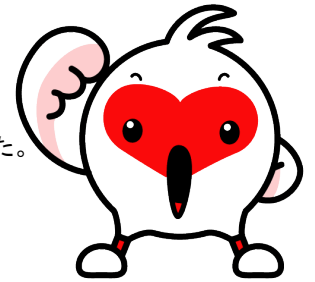
【スキルアップシートより抜粋】

何がわかった（何ができるようになった）

- ・自ら、資格取得に向けた勉強ができるようになった。
- ・危険物には、様々な種類があり、それぞれに性質があるので、個々に適した対処が必要だと分かった。

わからないことを積極的に聞いて理解が深まったか

- ・近くの友人と、クイズ形式で問題を出し合い、教えあったりしてわかるようになった。
- ・分からないところは、その場で聞き、後で復習できるようにチェックを多く入れて理解を深めた。
- ・放課後の勉強会にも参加して、友人や先生に分かりやすく教えてもらい理解を深めた。



今回の内容が今後どのように生かせるか考えた

- ・上位資格を取得する時に丙種の知識が生かせる。また、資格を取ることで社会に貢献できると思う。
- ・就職の幅も増えると思った。また、資格を取ることで、これからの未来の可能性が広がるのがわかった。
- ・資格を取得することで、適切な行動がとれると思った。

印象に残った点や自分の考えが変わった点、今後の改善点など

- ・今の時代は、資格などがとても大事になっていると感じた。今後はもっといっぱいできるだけ資格を取りたい。
- ・分からないところはそのままにしないで、理解できるようにすることが大事だと思いました。
- ・今まで、資格について何も考えてことがなかったけれど、この講座で、資格の大切さや取得にチャレンジすることの意義を知ることができた。チャレンジする気持ちは、たくさんの方に生かせると思いました。
- ・分からないところはどんどん聞いていかなければならないと思いました。もっと、予習・復習を頑張ります。学習意欲が増しました。

【生徒の変容】

- ・講座を通して、資格取得に積極的に取り組みたいと考える生徒が増えた。また、難しいことにチャレンジすることの大切を理解した生徒が多くなった。
- ・理解を深めるためには、先生ばかりでなく、多くの友人との関わりが必要と考える生徒が増えた。
- ・上位資格の取得や多くの資格を取得することで、自分自身の将来の可能性を広げ、社会貢献できることに気付く生徒が増えた。
- ・講座や補習を通して、学習に対する自信を持つ生徒が増え、これからも、資格取得を頑張りたいという気持ちにつながった。